県かこ 兵庫県立加古川医療センター
地域医療連携ニュース
vol.116
2023年 8.9月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 第 18 回 地域連携会議開催しました …… 1
- 救命救急センター …… 2
- 糖尿病･内分泌内科 …… 3
- 脳神経外科 …… 4
- 放射線部 …… 5
- 緩和ケア内科 …… 6
- 研修医紹介 …… 7
- 外来診療表 …… 8

第 18 回 地域連携会議開催しました！

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、オンラインのみで連携会議を開催しましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行となり、Hybrid 方式での開催といたしました。地域の皆様と直接お目にかかって連携を強化することは、重要な事と考えております。

会議において、田中宏和院長から、「県加古があってよかったとおもっていただけるようにがんばります！」と力強い挨拶がありました。

脳神経内科部長 奥田志保医師から「パーキンソン病のリハビリ入院について」

パーキンソン病は高齢化に伴い年々増加傾向で、進行を遅らせることは喫緊の課題です。パーキンソン病に対する入院リハビリについて紹介しました。

当日はご多忙のところ、多くの皆様に参加していただき、ありがとうございました。
3 年間新型コロナウイルス感染症拠点病院として、診療を一部縮小することで、地域の医療関係者には大変ご迷惑をおかけしました。これからも地域に貢献していきたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

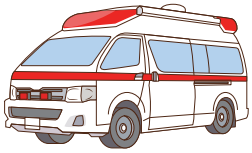
救命救急センター（救急科）

救命救急センター長兼救急科部長　**佐野　秀**

救命救急センターの ICU（集中治療室）・HCU は、救急車やドクターヘリ・ドクターカーで搬送される重症傷病者の入院管理を行う病棟であると同時に、院内の重症患者管理部門としての役割も担っています。一般病棟で入院中に状態が悪化した方や、侵襲度の高い手術・心臓や呼吸器に合併症を有する術後の方などが、ICU・HCU に入室しています。

ICU・HCU では、各専門診療科のサポートを受けながら、救急科が主体となって病床の運用と重症傷病者の診療を行っています。全ての救急科スタッフは基本的な救急集中治療を実施する能力を備えており、より専門性の高い日本集中治療医学会専門医資格を有する医師も 4 名在籍しています。また、専従の看護スタッフは 24 時間体制で患者さんの綿密な観察を行い、重症傷病に適した専門的なケアを提供しています。さらに、薬剤師・臨床工学技士・医療ソーシャルワーカー等のスタッフも、日々のカンファレンスや回診に参加し、治療方針や問題点についての議論・情報共有を行っています。

このような運用形態は、診療の質の向上や、医療資源の効率的な活用を行う上において重要であるだけでなく、疾病や外傷の重症度に関わらず、入院する全ての患者さんの安全に繋がるものと考えています。



糖尿病・内分泌内科

生活習慣病センター長兼糖尿病・内分泌内科部長　**飯田啓二**

当科の特徴

当科は文字どおり「糖尿病内科」と「内分泌内科」両分野おいて専門医療を提供しております。独自の糖尿病教育プログラム、外科系他科の周術期血糖管理、高度な内分泌診療、若手医師の教育・育成、専門医養成が当科の特徴です。

糖尿病診療について

糖尿病診療においてはチーム医療を実践しており、治療と教育を兼ねた入院「教育プログラム」を実施しています。特徴としては、生活習慣改善に重点を置き、通常の講義形式の授業だけでなく、糖尿病食バイキングやカンバセーションマップを用いた教室など患者さん参加型の形式を取り入れています。また個別運動指導を実施している点も大きな特徴です。腎臓内科とも密接にコラボし、腎症の症例も幅広く対応しています。

内分泌診療について

内分泌診療においては、当院は県内で数少ない日本内分泌学会認定教育施設、日本甲状腺学会専門医施設です。扱う疾患は多岐にわたり、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵内分泌、副腎、性腺疾患と全身をカバーします。兵庫県西部地域の広い地域から、内分泌緊急症などご紹介いただいております

若手医師の教育について

若手医師の教育にも力を入れており、当院の専攻医、初期研修医だけではなく他の県立病院からも熱意ある研修医が一定期間当科を選んで研修に来てくれています。若手医師たちが診療の中心になり、活気にあふれた環境です。

＜学会認定教育施設＞

- 日本内科学会認定制度教育病院
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設

■ スタッフ紹介

飯田　啓二	生活習慣病センター長 兼 糖尿病・内分泌内科部長	平成 5 年卒
戎谷　亜希子（非常勤）	兵庫県職員健康センター所長	平成 9 年卒
中村　幸子	総合内科兼糖尿病・内分泌内科部長	平成 14 年卒
藤田　泰功	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成 23 年卒
石田　育大	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成 24 年卒
合田　菜穂	糖尿病・内分泌内科医長	平成 24 年卒
稲山　由布子	糖尿病・内分泌内科医長	平成 27 年卒
樫谷　悠也	糖尿病・内分泌内科医長	平成 28 年卒
後藤　美菜子	糖尿病・内分泌内科医長	平成 28 年卒
藤川　萌恵美	糖尿病・内分泌内科医長	平成 29 年卒
西山　信晴	糖尿病・内分泌内科医員	平成 30 年卒
大西　佑弥	専攻医	令和 2 年卒
冨安　孝雄	専攻医	令和 2 年卒
永野　浩平	専攻医	令和 2 年卒
天野　桃望	専攻医	令和 3 年卒

脳神経外科

脳神経外科部長　**荒井　篤**

診療内容

頭部外傷や脳卒中などの救急診療から、頭痛やめまいなどの日常診療まで、また、片頭痛に対する予防薬（抗 CGRP 抗体注射）も行っています。手術については、脳・脊髄腫瘍、血管障害、水頭症など、ナビゲーションや術中モニタリングなどを用いて、安全・確実な治療を提供するように心掛けています。

より高次な治療が必要な患者さんについては、神戸大学病院や、はりま姫路総合医療センター等と連携して治療にあたっています。

昨年５月から森下医師がはりま姫路総合医療センター兼務となり、水曜日の外来診療のみとなり、機能的脳外科診療（痙縮に対するボトックス治療やバクロフェン髄注療法、難治性疼痛に対する脊髄刺激療法など）については水曜日に集約しています。

手術の有無に関わらず、患者さんにとって最善の治療を提供していくことを目標としていますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

病棟での集合写真

■スタッフ紹介

荒井　篤：部長	平成 14 年卒
松木 泰典：医長	平成 29 年卒
森下 暁二：部長	平成　７年卒　県立はりま姫路総合医療センター兼務

放射線部
～高額医療機器の共同利用・有効活用について～

放射線技師長　**梅宮　清**

地域医療機関の先生方には日頃から、CT 検査、MRI 検査、核医学（RI）検査、骨密度測定（DEXA）等の画像検査のご依頼をいただき厚く御礼申し上げます。

当院では多岐にわたる最新鋭の放射線診断装置および放射線治療装置を保有しており、我々診療放射線技師は様々な症例の検査に対応し、疾患に応じて適切な診断画像の提供、正確な治療に努めるべく日々研鑽を積んでおります。

ここ数年において当院は新型コロナウイルス拠点病院にも指定され、県内外方々から軽症から重症までの多くの感染患者を受け入れて参りました。この間は一般診療もままならない状態が続き、地域の皆様には多大なご不便をお掛けしたことと思います。

現在はコロナウイルス感染症も５類へ移行し、コロナ禍以前の状態へと徐々に戻りつつありますが、当院の放射線検査については以前の検査件数まで戻りきっておらず、検査予約枠は余裕のある状態が続いております。

主な放射線検査の検査件数を以下にご紹介致します。

（件）

検査種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
CT 検査	18,070	11,173	13,194	16,169
MRI 検査	5,965	4,410	5,242	5,414
核医学 (RI) 検査	713	583	599	638
骨密度測定 (DEXA)	1,275	1,176	1,264	1,424

当院に導入しております高額医療機器をさらに無駄なく地域の皆様のために有効に活用させていただきたく思っておりますので、地域医療機関の先生方、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療機関の先生方へ

地域医療連携部を通じて、以下の検査の予約を受け付けています。

予約待ち日数も少ない状況ですので、比較的早いタイミングで検査可能なことが多くなっております。是非ともご利用のほどよろしくお願い致します。また、放射線治療の相談も受け付けております。

① CT 検査（単純・造影）　② RI(核医学) 検査　③ MRI 検査（単純）　④骨密度測定（DEXA）

※曜日により可能な検査が異なります。詳細については病院ホームページをご参照ください。

CT 装置

MRI 装置

RI 装置

緩和ケア内科

副院長兼緩和ケア内科部長　**酒井英郎**

緩和ケアについて

緩和ケアとは、重い病を抱える患者さんやその家族ひとりひとりのからだや心などに起こる様々な苦痛（つらさ）を和らげて、より豊かな生活を送ることができるように支えるケアです。

現在、当科における入院での診療は、緩和ケア病棟における入院診療を基本としております。緩和ケア病棟への入院対象患者は、悪性腫瘍ならびに後天性免疫不全症候群に罹患している患者さんとなります（心不全の患者様の対応は行っておりません）。入院病室はすべて個室ですが、室料は無料です。

われわれは、緩和ケア病棟は“療養の場の選択肢のひとつ”と考えており、基本的には患者さん御本人が当院緩和ケア病棟での療養を希望されていることが入院の前提とさせていただいております。

実際の診療内容

緩和ケア内科 / 緩和ケア病棟では、下記に示すような専門的なケア（専門的緩和ケア）を提供していきます。

1）症状緩和

痛み（疼痛）や息切れ（呼吸困難）などの体の症状のために、自宅での療養に困難を感じる場合は少なくありません。また、療養生活の中で、気持ちの落ち込み（抑うつ）や不安などの心の症状によるつらさが影響を与えることもあります。このような様々な症状に対して、お薬での対応はもちろん、看護ケア・リハビリテーション・症状緩和目的での放射線治療など多角的なアプローチで、つらさを和らげるようにサポートを行っていきます。

2）在宅療養調整

住み慣れたおうちでの療養を円滑に、かつ安心して行っていくためには、在宅の介護･医療の資源（リソース）を上手に利用することがポイントになります。お体の状況やご家庭の状況、環境面のことなどを考慮するとともに、ご本人・ご家族の思いを踏まえた療養体制を準備するために、地域の診療所・クリニック、訪問看護､様々な介護サービスなどの紹介･連携を病棟専属の社会福祉士（ソーシャルワーカー）を中心にサポートします。経済的な問題や社会生活上の問題に関しても、療養にかかわる各種の助成制度の案内などを通じて対応いたします。

3）合併症治療

ご自宅での療養中､肺炎などの突発的な合併症に見舞われることもあります｡そのような合併症に対しても、患者さんのお考えに応じて、可能な範囲での治療対応を行っていきます。

4）介護疲労軽減のためのレスパイト

患者さんが住みなれたご自宅での療養を支えるご家族が肉体的・精神的な疲労を感じることがあっても不思議ではありません。患者さんのその後の自宅療養継続をサポートする意味でも、介護疲労の軽減のための短期的（1-2 週間）入院の受け入れも行っています。

5）終末期ケア

病気の進行に伴い、さまざまなつらさ（症状）が影響を及ぼすことが多くなってくることがまれではありません。また、大切な方とのお別れが近くなっているご家族もまた、それに伴うつらさが伴うことが容易に想像できます。そのような状況において、患者さんの価値観・生き方を尊重し、倫理的な配慮を行いながら、可能な限りの症状緩和を行うとともに、ご家族へのケア･サポートを行い、生きている“今”を大切に過ごせるようサポートしていきます。

（病棟スタッフ作）

＼研修医がんばってます／

2023年 研修医紹介

井上（いのうえ）　侑子（ゆうこ）

研修医２年目の井上侑子です。まだまだ未熟ですが何事にも精一杯努力しようと思います。よろしくお願いします。

末廣（すえひろ）　伊歩樹（いぶき）

研修医２年目の末廣伊歩樹と申します。当院での研修も１年と少し経ち、できることも少しずつ増えてきていますが、まだまだわからないことも多いので、これからも日々精進していきたいと思います。よろしくお願い致します。

堰本（せきもと）　亮平（りょうへい）

研修医２年目の堰本です。１年間の研修を経て、上級医の先生方の丁寧な指導を受け、医師として少しずつできることが増えてきましたが、まだまだ学ぶことが多いです。加古川医療センターの一員として少しでも貢献できるように、今後も日々研鑽を積んでいきたいと思います。

妹尾（せのお）　寛也（ひろや）

研修医２年目妹尾寛也です。日々至らぬことが多く、まだまだ学ぶべきことがたくさんあると常々実感しております。この気持ちを忘れず、日々努力をしていきたいと思います。日々成長を目指し、地域の医療に貢献できるよう頑張ります。

原井川（はらいかわ）　雄治（ゆうじ）

加古川医療センター研修医２年目の原井川雄治です。研修医として１年半が経過し、少しずつ出来ることが増えてきました。今後も地域の医療に貢献できるように頑張ります。

細川（ほそかわ）　典裕（のりひろ）

こんにちは。研修医２年目の細川です。病院の環境にも慣れ、ある程度の自信が付いてきた今日この頃です。ただ、現状に慢心せず日々精進できればと思います。

飯塚（いいづか）　裕斗（ひろと）

研修医１年目の飯塚裕斗と申します。まだまだ学ぶべき事が多く勉強の毎日ですが、少しでも早く一人前の医師になり、加古川の医療に貢献できるよう精進いたします。よろしくお願いします。

井久保（いくぼ）　純（じゅん）

今年度より初期研修医としてお世話になっております。井久保純と申します。業務の中でうまく出来ず苦戦することも多いですが、日々学びが多く充実した生活を送っています。未熟ですがどうぞよろしくお願い致します。

井上（いのうえ）　怜（れい）

４月より加古川医療センターにて研修医として勤めております。未熟ではございますが、地域の皆様の健康への一助となれますよう精一杯頑張っていきます。よろしくお願いします。

鈴木（すずき）　理英（りえ）

研修医１年目の鈴木理英です。私は出身地・出身大学どちらも兵庫県ではなく、あまり土地勘もない場所で働くことに不安を感じていました。しかし、みなさんが優しく接してくださり、ここで働けてよかったなと毎日感じています。まだまだ至らないところだらけですが、よろしくお願いします。

中島（なかじま）　康太（こうた）

研修医１年目の中島康太です。働き始めてから数ヶ月が経ちました。まだまだわからないことが多いですが、日々勉強の毎日を過ごしております。皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

布目（ぬのめ）　聖（せい）

研修医１年目の布目聖です。地元加古川で研修することができて、うれしく思います。同期、指導医の先生、スタッフの方々に支えられ、充実した日々を送っています。まだまだ右も左もわかりませんが、地域の方々のお役に立てるよう精進します。

県立加古川医療センター外来診療表

令和５年８月１日（火）～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		石田	大北	藤田		中村
消化器内科	１診		垰本(さかもと)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	田村	【尹(ゆん)】(再診のみ)	垰本(さかもと)
	２診		廣畑	岡田	廣畑	廣畑	安富(午前)岡田(午後)
	３診			渡部		白川	担当医
循環器内科	１診		福田	担当医(～14時)	岩田	担当医	岩田
	２診		【禁煙】			【ペースメーカー】	笠松
脳神経内科			下村	奥田	奥田(午前)下村(午後)		奥田
							下村(午後)
糖尿病・内分泌内科	１診		飯田	藤田	飯田	石田	樫谷
	２診			【後藤】	藤川(午前)永野(午後)		稲山(午前)安富(午後)
緩和ケア内科	入棟面談		担当医		担当医		担当医
	サポーティブケア外来(緩和ケア外来)		田中		田中		田中
生活習慣病			【尹(ゆん)】肝炎(午後)	【戎谷(えびすたに)】糖尿病・肥満	【合田】糖尿病・肥満	【西山】糖尿病・肥満	
			【福田】禁煙(午後)	装具外来			
リウマチ科	１診		中川	上藤			中川
	２診		天野	塩澤	塩澤		天野
	３診		西田	吉原	吉原	吉原	担当医
	４診		村田	西田	村田	村田	担当医
	５診		田中	リウマチ相談	田中	田中	リウマチ相談
腎臓内科	１診	午後		加藤		加藤(1, 3, 5週)	
外科・消化器外科	１診		高瀬	川嶋	小林	担当医	髙瀬
	２診		中川	谷川	門馬(もんま)		宮永
心臓血管外科				担当医			担当医(午後)
脳神経外科	１診		担当医	荒井	森下	担当医	荒井
	２診			松木	荒井		松木
乳腺外科	１診		石川	石川		石川	担当医
	２診		小林	担当医		小林	
整形外科	初診１診		青木	上藤	高山	西原	中川
	初診２診		高原		北山	神村	
	再診１診		【上藤】	中川	原田	【高山】	
	骨粗鬆症	午後	【上藤】				
形成外科	１診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	２診		谷口		谷口	谷口	谷口
	３診		【金山】		【金山】	【金山】	【金山】
皮膚科	初診／予診		廣田	熊谷	熊谷／山田	山田	廣田
	１診		山田	川田	川田	足立	川田
	２診		熊谷	廣田	増田	増田	山田
眼科	１診		薄木	薄木			薄木
	２診		徳川	徳川	徳川	石川	石川
	３診		秋田(第2・4)		石川		
泌尿器科	１診		担当医	佐藤	田中	担当医	田中
	２診			大場			大場
放射線科	(IVR)		担当医		担当医		担当医
	(治療)		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

予約受付時間　平日 9：00～18：30　土曜日 9：00～11：30（祝日除く）

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承願います。

※【　】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。

地域医療連携ニュースへのご意見ご感想をお待ちしています。ご連絡は地域医療連携室まで。